

条例制定運動、大きなうねりへ！

3週間で12,000名の署名集まる！

1月15日から2月15日までの1ヶ月間、住民投票を実現する会が呼びかけている住民投票条例制定を求める署名運動が大きな盛り上がりを見せています。250～260億円もの巨大プロジェクトの市立病院の移転・建設問題を行政や議会だけに「お任せ」でなく、市民が直接1票投票でその是非を決める住民投票こそ必要だとの訴えが、市民に共感を生み、松戸の市民・住民運動で初めての大きなうねりとなって拡大しています。2月7日に開催された「署名運動最終大集会」の中間集約で12,000名の署名が集まっていることが報告されました。

●なぜ、署名運動が拡大しているのか

駅頭や繁華街、戸別訪問などで市民が署名をしていく際、一番多く聞かれる声は、市長の5選出馬声明に対する批判。2番目は、260億円という借金問題。市税収入が極端に落ち込み、1800億円もの借金を抱えながら、さらに負債を重ねることへの批判。3番目が松戸の南端に移転すること。紙敷区画整理事業「救済」に関する批判です。

昨年、『広報まつど』やホームページ、市政懇談会等で市立病院問題は決着したのだと宣伝されてきました。多くの市民が「決まってしまったのでは」とあきらめていたのです。ところが、住民投票で移転・建設問題を市民が直接審判できる方法が「地方自治

法」によって認められていることが宣伝され始めると、市民の意識が大きく変わりだしたのです。長期政権に飽き飽きしていた市民が動き出したのです。

●推進派の反撃に負けず、議会と行政を動かす署名数に！

こうした市民の動向に危機感を持つ市立病院移転・建設の推進派の人たちから、「もう決まったこと」「現地建て替えはできない」との反論が宣伝されだしています。私たちは、最後まで気を緩めず署名活動を続けます。署名が取れる人（選管で承認された市民、受任者という）が900名とびっくりする市民が関わっています。受任者になって署名を集めてください。まだ署名されていない方、ご協力ください。



病院移転の是非を問う住民投票の署名を行う市民ら

松戸市立病院の移転問題
16歳以上 住民投票求め署名開始
 松戸市立病院（同市上本郷）の移転問題で、地元町内会などの市民らが15日、移転の是非を問う住民投票条例の制定を市長に直接請求するための署名運動を始めた。
 請求に必要な約8000人（有権者の50分の1）の署名集めを目指す。
 市は昨年4月に耐震性問題があることを理由に市立病院を同市紙敷の東松戸駅前に移転新築し、2011年の開院を目指すことを発表している。これに対し、住民投票を目指す市民らは「市立病院の移転新築には約250億円が必要で、その大半が企業債の発行に頼る。市民にとって大きな負担となる事業であり、住民の意思で決定すべき」と主張している。
 市民らは2月中旬まで署名運動を続け、3月下旬には市長に条例制定を請求したいとしている。



市民自治をめざす 2010.2.8
 号外 34号

1000人の会 NEWS

発行 市民自治をめざす1000人の会 住所 〒271-0092千葉県松戸市松戸1879-24 ほととビル5F
 Tel&Fax 047-360-6064 E-mail shinji-1000party@msj.biglobe.ne.jp
 郵便振替口座 00130-0-76000 http://www.5b.biglobe.ne.jp/~matsudo

〈市民自治をめざす 1000 人の会の声明〉

政務調査費を不正受給した

高橋義雄市議は辞職せよ！

1月22日にマスコミ各誌が一斉に報道したように、松戸市議会で信じられない不祥事が明らかになりました。この記事では、高橋義雄議員が1月21日に開催された市議会全員協議会の場で、政務調査費（議員1人に月5万円、年間60万円支給）を4年間で156万円不正受給したことを認め、謝罪したとあります。「政治とカネ」問題は、国会だけでなく、身近な市議会でもおきました。

●不正受給を認めても、市民に謝罪していない

この報道記事では、高橋市議は、自らが犯した犯罪を心から悔い、市民に謝罪していません。本当に謝罪をする気持ちがあるのであれば、市民から付託を受けている市議会議員を辞職することを明言すべきです。ところが、辞職については「否定」、「迷惑をかけたことを新たなスタートとして、議会活動でお返ししたい」と述べています。警察からも事情聴取され、詐欺容疑で書類送検されようとしています。全員協議会でも「辞職すべきだ」との怒号が飛び交い一時は騒然となったほどです。156万円の不正受給をしながらも、1月19日に全額返還したから

解決したとばかり開き直っていることは許せません。

●あきれた「借金返せず、腹いせに政調費の罫」なる内部告発への反論

新松戸地域を対象に配布している月間『ゆうかりタイムス』は、高橋議員が主筆で、企業や商店からの広告料で維持されている地域の新聞です。この最新号(2/5)では、市民が「あきれる」内部告発の顛末が記載されているようです。

内部告発を「卑劣なテロに屈せず前進」などと、自らを被害者に置き換えています。この記事を読んだ市民は「あきれ」、このような議員は辞職すべきだと怒りをもたれることでしょう。「今後も一層勉強して市民の負託にこたえたい」と、ここでも辞職を否定しています。

●市議会は、「辞職勧告」と再発防止策を！

市民自治をめざす1000人の会では、この政務調査費の「不正受給」事件を検討し、以下の問題点を高橋義雄市議と松戸市議会に提起することを確認しました。

1. 高橋義雄議員は、市民に対する記者会見で経過説明と謝罪をすべきこと。
2. 内部告発を逆手にとって議員に居座ることなく、直ちに辞職すべきこと。
3. 松戸市議会は、「辞職勧告」を決議し、辞職することを求めること。
4. 再発防止対策の検討を加え、領収書に内容資料の添付を義務付けること。さらに、内部告発がなければ明らかにできなかったこの事態に対して、謝罪すること。

松戸市の市議 4年間で政調費156万円不正受給

詐欺容疑で書類送検へ

松戸市の高橋義雄市議(74)が04〜07年度の4年間に架空の領収証を市に提出し、政務調査費計約156万円を不正に受け取っていた疑いのあることが分かった。県警捜査2課と松戸署は近く高橋市議を詐欺容疑などで書類送検する方針。

21日の市議会全員協議会では、他の市議から批判が相次ぎ、高橋市議は進退について「辞職の選択もあるが、今回お掛けした迷惑以上の社会活動をして貢献するのが責務だ」と発言。議員辞職を勧告すべきとの声も上がり、会場には怒号が飛び交い一時は騒然となった。

高橋市議は7期目で議長も歴任。政務調査費は市議1人当たりの年60万円で、立て替え精算で年度末に支給される。

【西浦久雄】

松戸市の市議 4年間で政調費156万円不正受給 1/22 毎日

松戸市の市議 4年間で政調費156万円不正受給 1/22 毎日

松戸市の市議 4年間で政調費156万円不正受給 1/22 毎日

松戸市の市議 4年間で政調費156万円不正受給 1/22 毎日

松戸市の市議 4年間で政調費156万円不正受給 1/22 毎日